

令和元年台風第19号
埼玉県台風災害復旧・復興推進会議（第2回）

次第

令和3年2月16日（火）
書面開催

議題

- 1 開会
- 2 令和元年台風第19号の主な被害状況について
- 3 復旧・復興に関する取組状況について
- 4 閉会

令和元年台風第19号埼玉県台風災害復旧・復興推進会議（第2回）
出席者名簿

| 構成員 | 職名 | 氏名 |
|---------|----------|-------|
| 議長 | 副知事 | 橋本 雅道 |
| 副議長 | 危機管理防災部長 | 森尾 博之 |
| 直轄 | 秘書課長 | 岡 精一 |
| 企画財政部 | 政策・財務局長 | 廣川 達郎 |
| 総務部 | 人財政策局長 | 澁澤 陽平 |
| 県民生活部 | 副部長 | 市川 善一 |
| 危機管理防災部 | 副部長 | 福田 哲也 |
| 環境部 | 環境未来局長 | 安藤 宏 |
| 福祉部 | 副部長 | 沢辺 範男 |
| 保健医療部 | 副部長 | 唐橋 竜一 |
| 産業労働部 | 副部長 | 新里 英男 |
| 農林部 | 副部長 | 野口 典孝 |

| 構成員 | 職名 | 氏名 |
|----------|------------------|-------|
| 県土整備部 | 副部長 | 三須 康男 |
| 都市整備部 | 副部長 | 堀井 徹 |
| 会計管理者 | 出納総務課長 | 島田 繁 |
| 企業局 | 企業局管理部長 | 鈴木 柳蔵 |
| 病院局 | 経営管理課長 | 高窪 剛輔 |
| 下水道局 | 下水道管理課長 | 松塚 研一 |
| 議会事務局 | 副事務局長 | 矢島 謙司 |
| 監査事務局 | 副事務局長兼 監査第一課長 | 高橋 健 |
| 人事委員会事務局 | 副事務局長兼 総務給与課長 | 田口 修 |
| 労働委員会事務局 | 副事務局長兼 審査調整課長 | 吉田 雄一 |
| 教育局 | 教育総務部 副部長 | 岡部 年男 |
| 警察本部 | 警備部 危機管理課長 | 江田 浩之 |

令和元年台風第19号の主な被害状況

令和2年12月1日時点

人的被害

死者4名
負傷者33名

県管理河川

溢水・越水55箇所、決壊2箇所

住家被害

7,157棟
(内訳) 全壊: 107棟
半壊: 570棟
一部破損: 1,021棟
床上浸水: 2,088棟
床下浸水: 3,371棟

その他県管理施設

- 県営公園: 2公園で浸水、1公園で施設破損
: 秩父ミュージアムパーク内で地すべり
- 県営住宅: 坂戸東坂戸住宅で床上浸水 (1階)
- 教育施設: 設備の破損・故障189校 (機関)

※ 市町村立学校を含む

県管理道路

通行止 延べ 129箇所
(内訳) 土砂流出: 17箇所
崩落: 22箇所
道路冠水等: 90箇所

農林業

農作物: 約161ha (ねぎ、いちご等)
ハウス: 197棟
農業機械: 701件 等

商工業

被災中小企業335社

復旧・復興に関する取組状況について

令和元年台風第19号復旧・復興取組状況 (危機管理防災部)

災害救助法

令和2年12月1日時点

【応急仮設住宅入居世帯数】

賃貸型

35世帯 (93名)

※これまでの合計45世帯 (123名)

建設型 (福祉仮設住宅)

58名

【応急修理】

修理申込数

523件

修理完了数

519件 (99.2%)

【災害援護資金貸付】

住家の全壊・半壊、家財の損壊等に対する貸付

東松山市・川越市・上尾市等 6市町

22件 合計39,764千円

被災者生活再建支援法

令和2年12月1日時点

【被災者生活再建支援金】

累計申請数 357世帯 延べ637件

基礎支援金：申請 365件

(被害の程度により支給) 支給済 348件 (95.3%)

加算支援金：申請 272件

(再建の方法により支給) 支給済 252件 (96.2%)

防災無線施設災害復旧

令和2年12月1日時点



【復旧前】



【復旧後】

義援金

これまでの実績

1件あたり配分額

募集期間：令和元年10月～2年3月

義援金集金額：約6億2,600万円

※4回に分けて配分済 (最終配分：R2.7)

死者：約84万円

住家全壊：約84万円

住家半壊：約42万円

地方自治法による職員派遣

これまでの実績

※派遣先は東松山市のみ

被災者支援・廃棄物・農業施設
改修等の業務支援で派遣

県職員：1名

県内市町職員：延べ16名

○ 被災施設名称

秩父高原中継局

○ 被災状況

擁壁、門扉、フェンス、外灯、
引込電柱等の損傷

○ 復旧費用

24,598千円 (設計+工事)

○ 工期

令和元年10月～令和2年10月
(設計+工事)

令和元年台風第19号復旧・復興取組状況 (環境部)

令和2年12月1日時点

令和元年発生自然公園施設災害復旧費

事業概要

- 被災箇所
美の山公園道路崩落（秩父市黒谷地内）
 - 1) 1号箇所 L=84.0m
 - 2) 2号箇所 L=64.0m
- 実施額 工事請負費 43,566千円
委託料 2,473千円
- 通行再開日 令和2年8月19日
- 復旧工事完成 令和2年9月16日

○ 取組内容

- 1) 測量設計業務委託
路線・現地測量、道路法面詳細設計
- 2) 応急対策工事
流出土砂撤去、大型土のう工、
残土処理工
- 3) 復旧工事
 - 1号箇所
土工、盛土補強工、植生シート、舗装工、
かごマット工、排水構造物工、安全施設工
 - 2号箇所
かごマット工、植生シート工、舗装工
安全施設工

復旧状況

1号箇所



【復旧前】



【復旧後】

2号箇所



【復旧前】



【復旧後】

別紙3 令和元年台風第19号復旧・復興取組状況 (福祉部)

令和2年12月1日時点

社会福祉施設等災害復旧費（39,756千円）

高齢者福祉施設

【施設整備】

申請件数 3施設
被災状況 雨漏り
補助額 15,862千円
修理状況 すべて完了

【設備整備】

申請件数 3施設
被災状況 街灯の破損など
補助額 549千円
修理状況 すべて完了

障害者支援施設

【施設整備】

申請件数 3施設
被災状況 床上浸水など
補助額 2,724千円
修理状況 すべて完了

【設備整備】

申請件数 3施設
被災状況 浸水によるエレベーター故障など
補助額 6,653千円
修理状況 すべて完了

児童福祉施設

【施設整備】

申請件数 2施設
被災状況 雨漏り
補助額 12,013千円
修理状況 すべて完了

【設備整備】

申請件数 6施設
被災状況 窓ガラスの破損など
補助額 1,955千円
修理状況 すべて完了

令和元年台風第19号復旧・復興取組状況 (産業労働部)

令和2年12月1日時点

1 中小企業災害緊急融資事業

被災した中小企業に対し、新たな緊急融資枠を時限的に設け、融資限度額を2倍にすることで、災害の復旧に向けた円滑な資金調達を支援

| | | | | |
|--------------|--------|-----|--------|-------------|
| (1) 経営安定資金 | 【融資件数】 | 58件 | 【融資実績】 | 1,456,670千円 |
| (2) 経営あんしん資金 | 【融資件数】 | 3件 | 【融資実績】 | 22,000千円 |
| | 合計 | 61件 | 合計 | 1,478,670千円 |

2 中小企業災害復旧事業

被害を受けた県内中小企業者に対し、被災施設の復旧を支援

| | | | |
|--------|-------------------|---------|-----------|
| 【補助内容】 | 施設や機械装置等の被害に応じた補助 | | |
| 【補助率】 | 3 / 4 | 【補助上限額】 | 50,000千円 |
| 【申請】 | 163件 | 【交付決定額】 | 930,766千円 |

3 災害に負けない観光需要創造事業

台風の影響により、キャンセルが発生した被災地域における一泊以上の旅行、宿泊商品を対象に、料金の一部を助成

| | | | |
|--------|---|-------|----------|
| 【補助対象】 | 被災地域48市町村（災害救助法適用市町村） | | |
| 【補助内容】 | 宿泊代金6,000円以上10,000円未満：3,000円、10,000円以上：5,000円 | | |
| 【申請】 | 16,423件 | 【補助額】 | 71,662千円 |

令和元年台風第19号復旧・復興取組状況 (農林部)

令和2年12月1日時点

農家等への支援

【農業用施設・機械等に関する支援】

農業ハウスや機械等の再建、修繕等に要する経費について助成

17市町で127経営体
(予算額：867,252千円)

【共同利用施設等に関する支援】

農業共同利用施設や卸売市場の修繕等に要する経費について助成

5件(補助額：36,867千円)

【農産物等に関する支援】

農薬・肥料等の購入に要する経費について助成
5市町で27経営体(補助額：11,725千円)

収穫米出荷不能農家の営農再開支援の経費について助成

3市で11経営体(補助額：3,066千円)

農地や農業・林業基盤施設等の災害復旧

<令和元年12月補正予算額>

【山林・林業基盤施設の復旧関係】

県営林作業道の修繕等(予算額：35,744千円)

23路線 ※復旧済 10か所・復旧中 13か所

治山施設の整備(予算額：300,000千円)

9か所 ※復旧済 4か所・復旧中 5か所

森林管理道の復旧(予算額：2,286,490千円)

100か所 ※復旧済 13か所・復旧中 38か所
今後復旧予定 49か所

【農地・農業基盤施設の復旧関係】

農地被害や施設被害の復旧に要する経費について助成
(予算額：3,344,204千円)

132か所 ※復旧済 97か所・復旧中 35か所

【県管理施設の復旧関係】

秩父高原牧場(予算額：183,700千円)

※復旧中

森林ふれあい施設(予算額：65,600千円)

※復旧中

令和元年台風第19号復旧・復興取組状況 (県土整備部)

令和2年12月1日時点

県管理公共土木施設に係る災害復旧事業の進捗状況

| 工種 | 国庫負担 対象額(千円) | 箇所数 | 進捗状況 | | | 備考 |
|--------|-----------------|-----|--------|---------------------|-----------------|---------------------------------------|
| | | | うち復旧完了 | うち今年度末までに 完了予定※1 | うち次年度以降 継続予定 | |
| 河川管理施設 | 3,287,197 | 95 | 65 | 26 | 4 | 都幾川※2 (R4完了予定) |
| 砂防施設 | 166,192 | 11 | 4 | 7 | 0 | — |
| 道路施設 | 1,154,933 | 25 | 22 | 2 | 1 | 県道中津川三峰口停車場線 (ロックシェッド) (R3完了予定) |
| 計 | 4,608,322 | 131 | 91 | 35 | 5 | |

※1 建設資材の搬入状況により、工期の精査を行う可能性がある。

※2 災害復旧工事に改良費を加えて施工する「改良復旧事業」を進めている。

災害復旧例

- ① 一級河川入間川／飯能市上名栗地内
工期：令和2年3月9日～令和2年9月30日（令和2年9月30日完成）



- ② 主要地方道熊谷小川秩父線／東秩父村白石地内
工期：令和2年2月21日～令和2年11月20日（令和2年11月13日完成）



令和元年台風第19号復旧・復興取組状況 (都市整備部)

令和2年12月1日時点

県営公園

(予算額：4,232,632千円)

罹災公園数：4公園（秋ヶ瀬公園、こども動物自然公園、吉見総合運動公園、秩父公園）

うち復旧済公園数：3公園（秋ヶ瀬公園、こども動物自然公園、吉見総合運動公園）

【秋ヶ瀬公園】浸水 約22ha

状況：復旧・開放済



【こども動物自然公園】池の損傷 約400㎡

状況：復旧・開放済



【吉見総合運動公園】土砂堆積 約7ha

状況：復旧・開放済



【秩父公園】地すべり 約5ha

状況：応急復旧対策済み。今後、災害査定を受検し、恒久的な復旧工事に着手する予定



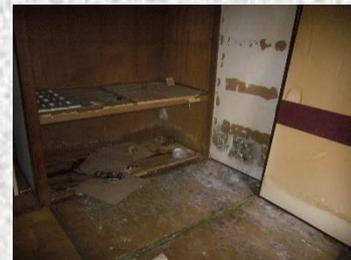
県営住宅

【坂戸東坂戸住宅】

1階50戸や集会室等で床上浸水

状況：復旧・入居済

(実績額：216,338千円)



復旧前

復旧後

令和元年台風第19号復旧・復興取組状況 (教育局)

令和2年12月1日時点

被害状況

設備の破損・故障 県立学校 27校、県立教育機関 2施設

対応状況

- 被害が比較的軽微なものは既定の維持修繕費で修繕を実施するなどに対応。
- 被害が比較的甚大であったり、国の災害復旧事業の対象となった県立学校4校及び県立教育機関1施設（県立川の博物館）については、令和元年12月補正予算で対応。

令和元年12月補正予算での対応状況

- 1 県立学校4校 → 令和2年3月までに復旧工事完了
学校名 : 皆野高、大宮武蔵野高、大宮東高、芸術総合高
復旧費用 : 10,043千円
- 2 県立川の博物館 → 復旧工事中（予算額 : 363,693千円）

【復旧工事の進捗状況】

荒川わくわくランド復旧工事・・・令和2年7月27日完成
川の博物館復旧工事・・・令和2年度中に完成予定

【施設の再開状況】

令和2年8月 荒川わくわくランド再開
令和3年4月 完全開館予定



【復旧前】瓦礫が堆積した荒川わくわくランド



【復旧後】再開した荒川わくわくランド

議長（橋本副知事）訓示

死者4名、住家被害7,000棟以上と本県にも大きな爪痕を残した令和元年東日本台風から1年4か月が経過しました。

発災当初から、一日も早い被災地の復旧・復興、被災者の生活と生業の再建に向け、全庁を挙げて取り組んできました。

これまでに、被災された方々に応急仮設住宅の提供、被災者生活再建支援金の支給、義援金の配分、被災された中小企業や農家への支援、さらに、被害を受けた社会福祉施設、県立学校等の施設の修繕など復旧・復興に向けた取組を進めてきました。

その一方、未だ多くの方々が自宅に戻れず応急仮設住宅で生活されており、河川や道路等の復旧工事も完了していない箇所が残っております。

今後も引き続き被災地の復旧・復興に全力で取り組んでいく必要がありますので、県庁としてワンチームとなって取り組んでいただきたい。